

様式第2号（第20条関係）（表）

年 月 日

消防署長 様

申告者 住 所
職業・氏名
電話番号

不 動 産 り 災 申 告 書

1	り災年月日	年 月 日		り災物件と申告者との関係	所有者・管理者・占有者
	り災場所				
2	建築・購入年月	建 築 又 は 購 入 金 額			
	推定・記録・記憶	推 定 ・ 記 録 ・ 記 憶 ・ 不 明			
	年 月	1㎡当たりの金額(円)		総 金 額 (円)	
3	取 得 後 の 経 過				
	修繕・改築	年 月	修繕・改築した箇所		修繕・改築に要した金額(円)
		年 月			
	増築	年 月	増築の概要	増築面積(㎡)	増築に要した金額(円)
		年 月			
	4	り災前の建物詳細			
建物の用途		屋根	外壁	階数 延べ面積(㎡)	
居住世帯数		世帯	居住人員	人	
5	建物・収容物以外のり災状況				
	り災物件名	り災の別	数量又は面積	経過年数	
		焼・爆・他		年	
		焼・爆・他		年	
		焼・爆・他		年	
6	火 災 保 険 の 契 約				
	契約会社名	契約年月		保険金額(万円)	

様式第2号（第20条関係）（裏）

不動産り災申告書記載要領

（1の欄）

り災物件と申告者との関係は、あてはまるものを○で囲んでください。

（2の欄）

- 1 建築、購入年月日、金額の欄は、記録（帳簿や契約書など）によって明らかなものなのか、推定によるもののかなど、あてはまるものを○で囲んでください。
- 2 金額の欄は、建物を取得した当時の土地の価格を除いた1㎡当たりの金額と、総金額を円単位で記入してください。

（3の欄）

- 1 取得後の経過の欄、建物を取得してから、規模の大きな建物の修繕、改築、又は増築があった場合に記入してください。
- 2 修繕・改築・増築の欄は、いつ、どの部分を、どのくらい（㎡）、修繕、改築、増築し、いくら（金額）かかったかを記入してください。

	年	月	修繕等した箇所	金額
例）改築	平成2年	8月	1階事務所部分 30㎡	3,532,500円
例）増築	昭和59年	4月	2階住宅 20㎡	1,520,000円

（4の欄）

- 1 り災前の建物詳細の欄は、建物の用途、屋根、外壁の構造材、階数、延べ面積を記入してください。

用途	屋根	外壁	階数	延べ面積
例）住宅	日本瓦	モルタル	2階建	75㎡
例）店舗・住宅	亜鉛鉄板	石綿セメント板	3階建	135㎡

- 2 居住世帯数・住居人員の欄は、建物内すべてに住居する世帯と人員を記入してください。

（5の欄）

- 1 建物・収容物以外のり災状況の欄は、建物・収容物以外の庭木類、塀などがり災した場合に記入してください。
- 2 り災別の欄は、あてはまるものを○で囲んでください。
 - （1） 焼：火災によって焼けた物及び熱によって炭化、溶融、又は破損したものなど
 - （2） 爆：爆発により、壊れた物など
 - （3） 他：消火のために受けた水損、破損、汚損など、煙により汚れたものなど、運び出す時に壊れたものなど

（6の欄）

- 1 火災保険の加入が数社ある場合は、すべて記入してください。
- 2 保険金額は、契約会社別に万単位で記入してください。

備考

- 1 この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書は、り災した建物の1棟について1枚を使用してください。
- 3 この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出してください。
- 4 あなたに連絡する場合の連絡先の電話がありましたら、その電話番号を記入してください。
- 5 火災によるり災証明を発行する場合は、この申告書が出ていると早く発行することができます。
- 6 この申告書でわからないことがありましたら、消防署までご連絡ください。